

## 平成30年度 定時会員総会および春季学術講習会が開催されました！



お願い致します。

4月22日(日)郡山地域職業訓練センターにおいて平成30年度定時会員総会および春季学術講習会が開催されました。

日曜日にもかかわらず約30名の会員が出席され、昨年度の事業実績や財務状況、今年度の運営方針等が報告されました。今年度も福島県鍼灸師会は学術講習会を中心に会員の皆さんにメリットを感じていただけるような活動を行ってまいります。よろしく

午後は春季学術講習会が開催され、第1部は『認知症を学び地域で支えよう』と題して、福島県社会福祉協議会の橋本恵李先生がご講演されました。

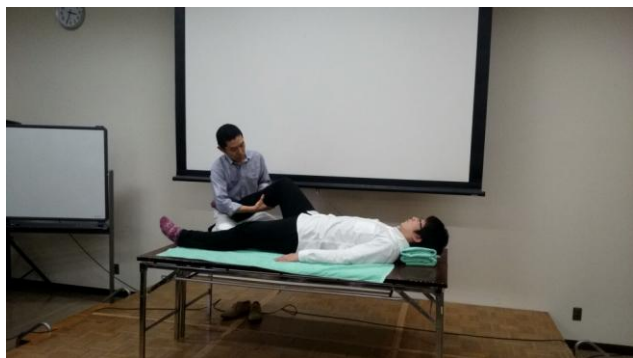
知っているようで詳しくは知らない認知症の基礎知識、認知症の症状、診断・予防・対応等、細やかな内容をお話いただきました。

講習を終え、オレンジリングをいただいたことで地域の「認知症サポーター」として支援できるようになりました。



第2部は『訪問マッサージにおける要介護高齢者への対応』。訪問マッサージあいので 郡山店責任者安藤康詠先生が講師をされ、施術の実際等、写真や動画を使って詳細に解説していただきました。

マッサージだけではなく、起立訓練や立位バランス訓練等の機能訓練も紹介していただき、ADLの回復と向上をしていくには筋力を保持・増進するための機能訓練が重要であると説かれました。



訪問ですから、院内の使い慣れたベッドで施術できるわけではありません。介護用のベッドでいかに効率よく、施術するかが大切になります。それを踏まえて安藤先生には仰臥位、側臥位でのそれぞれのメリットや実際の対応を目の前で見せていただきました。

## 鍼灸ボランティア in 第25回郡山シティーマラソン大会!



4月29日(日)、第25回郡山シティーマラソン大会が郡山市開成山陸上競技場にて開催されました。25回目の大会ということで、ついに8,000名を超えるランナーの参加があり、陸上競技場周辺は大変な賑わいでした。

福島県鍼灸師会としては第2回大会から参加しており、大会関係者やランナーからは認知されてきている感があります。

今年度から益子勝良先生がスポーツ鍼灸委員会委員長となり、スポーツにおける鍼灸ボランティアの新しい活動の第一歩となりました。

今大会は参加スタッフ26名(会員13名、会員外3名、学校関係者2名、学生8名)、ベッド9台で対応しました。

今年は複数のランナーがボランティア開始前から待ち始め、朝のミーティング前に数名の施術を行いました。また、例年と比べてレース前に施術を受けるランナーが多かった印象です。



ランナーが出走した後に訪れるアイドルタイム。今回は三瓶真一会長が『逆子の鍼灸治療』をレクチャーしてくださいました。不妊治療で有名な治療院の逆子治療のコツを学べるとあって、ベッドの周りにはたくさんの先生と学生が集まりました。

三瓶先生が取穴された経穴はポピュラーなものでしたが、そこへ置鍼している間、〇〇に軽い刺激を与える等の生きたコツを教えていただき、大変勉強になりました。

逆子治療は一定の受療がありますので、より精度の高い施術ができそうです!

毎年のごとではありますが、お昼前にはレースを終えたランナーがケアを希望されるため、大変混雑します。数年前からゴール地点が変更になり(ボランティアブースが遠くなってしまいました)、その影響からか、レース後の人数が伸びませんでした。過去最高人数には及びませんが、今年は少し戻ってきたように思いました。少しでも多くの方に鍼灸の良さを伝えていきたいですね。

ランナーの方々からは「地元で鍼灸を受けています」や「シティーマラソンでは頼りにしています」「昨年お世話になって助けられたので今年もお願いしに来ました」といったお話を伺えました。こうした地道な活動を続けていくことで、ちょっとずつ「鍼灸ファン」が増えてくれると嬉しいです。

こうした場に参加することで「限られた環境の中でいかにいつもの施術を行い結果を出すか」をトレーニングできます。スポーツの現場ですが震災時の活動も念頭においています。ベテラン先生と学生の目がある中で、己を鍛錬してみませんか? 相当勉強になりますよ!